
雨の中で...

K A U

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雨の中で…

【Nコード】

N7800B

【作者名】

KAU

【あらすじ】

キミがずっとすきだったでも勇気がなくて言えなかったけどいつかきつとそんなとき、雨が…

ザー…

「ハア！？最悪だ。こんな急な雨ありえねえよ。」

オレ、梅宮 海「うめみや かい」は担任の突然の呼び出され、長々と説教を喰らった後、校舎から出ようかとしたとき急に雨が降ってきた。

時はもうすでに誰もいないような時間

「たく、傘は持つてゐるわけないし、もうこんな時間だし、濡れて帰るのしかねえのかよ。まあしゃーねえか。」

「梅宮君？…」

はつと、後ろを振り返るとそこには、自分が密かに恋い焦がれている同じクラスの高野 麻衣「たかの まい」が居た。

「どうしたの？こんな時間に…」

「いつ、いや、実はさっきまで近藤先生に呼び出されてたんだ…」

だけど、この突然の雨で…」

思いがけない出会いに緊張しながら、オレは答える。

「傘がないんだ…。」笑顔で答えながら自分のそばにやってくる高野。

「ねえ、梅宮君で中野町だね？」

「そうだけど…？」

「私、もう一つむこうの谷沢町なんだ。だから私の傘に入ってたかない？」

何ー！？これは夢か？夢なのか？突然の提案にドキドキしながらほつぺをツネってみる。

痛い…

どうやら夢じゃないようだ…。

「何やってるの？…」

ほほえみながら、高野は俺のほうを見てくる。

「いつ、いやなんでもないよ。喜んで入れてもらっよ。」できる限りのちゃんとした笑顔で返事をする。

「んじゃ、帰ろっ。」

「ああ。」

ああきつと、今のオレの顔は緩みまくってるだろうな…。

返事をしながら心の中で密かに思いながら歩く。

「何で近藤先生に呼び出されたの？」

「ああそれは

「おい、梅宮！最近遅刻が多いんじゃないのか？それにおまえは…」てな感じさ。」

近藤先生のマネをしながら長々とした説教を簡単に説明する

「アハハッ。けど、ホント梅宮君で遅刻多いよね。」

「んゝそうかなゝ…」

「多いよゝ一週間に三日は遅刻してるよ。」

「んゝ…」

現状を言われて言葉に詰まるオレ

「じゃあ、毎日私が起こしに来てあげようか？」ふとオレの顔をの

「えっ！！？」

「冗談だよ！どうしたの？もしかして本気にした？」

「すっ、するわけないだろ！！」

顔を真っ赤にしながら答える

そしてそうこうしているうちに、オレの家のまえに着く。

「あっここオレんちだし。」

「そうなの？それじゃあね。バイバイ。また明日ね。」

そういつて高野はセミロングのかみを揺らしながら帰っていく

「たっ、高野！！」

突然のオレの呼びかけにビクッと驚きながらこつちを振り返る高野。

「オレ、おまえの事が好きだ。」

「えっ！！？」

「オレと付き合ってくれ。」

オレが人生初の告白を言い終わると高野はうつむきだした

「たっ、高野?…」

「なっ!?!」

オレは一体何が起こったのかわからなかった…

えゝ少しずつ整理しようか。今オレの顔の前にあるのは高野の頭で、今腰には高野の手が回されている…オッ、オレ抱きつかれてる!?

「ちよっ、ちよっ和高野!」

「やっと言ってくれたね。」

「えっ!?!」

「私、ずっと待ってたんだよ」高野を少し離すと、高野は涙を流していた。

「私ね、もう一年もあなたを見ていたんだよ。」

「……………」

「私、この高校の入学したとき、独りぼっちだったの。周りに知っている人がいなくて困っていた。そんなとき、あなたが話しかけてくれた。ホントにうれしかった」

「そしてだんだん友達ができてある日気づいたんだ。私はあなたが好きだった。」

「えっ!?!じゃあ…」

「こんな私でよかったらよろしくね。海。」

オレはうれしくてうれしくて思わず抱きついてしまった。

「こっちこそよろしくね。麻衣。」

「海…」

「うん。」

そうしてオレたちは雨の中、たった一つの傘の中でキスをした…。

END

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7800b/>

雨の中で...

2010年10月11日02時19分発行